



HANABI

在校生の 皆様へ

同窓会長 齋藤智輝

いよいよ後期が始まりますね。1年生は大学に慣れてきましたでしょうか。2年生は、楽しい夏を過ごせたでしょうか。大学生活は長いようであつという間です。1. 2年生は時間がある今の時期に色々な事を経験して欲しいなと思っています。3年生はいよいよ領域別実習の時期になり不安や緊張で一杯ですね。

さて、4年生は実習も終わり、国家試験ムードになっていきます。今年の甲子園で仙台育英の監督が「人生は敗者復活戦」と話されていました。模試で点数が伸びず焦っている人や、勉強しなきゃと思いつつもなかなかやる気が出ない方もいるかもしれません。国家試験までの半年は意外と長いです。一日一日大切に勉強していけば、絶対大丈夫です。

今回の目次

1. 国家試験に向けて知識を付けよう（新出題基準①）
 - ・ 鶏眼、胼胝、疣贅
 - ・ トラウマインフォームド・ケア

先輩方に聞いてみたい事、大学生活でテストや実習等について不安・疑問がある方は、同窓会まで以下のメールアドレスで気軽にご連絡ください。先輩方がお答えいたします。

連絡先：dousoukai@sutoku-u.ac.jp

1. 国家試験に向けて知識を付けよう（新出題基準①）

新！出題基準「鶏目(けいがん/うおのめ)」

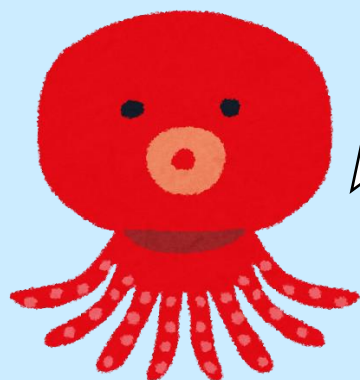
鶏目(うおのめ)は、皮膚の一部に繰り返し刺激が加わることによって、角質が部分的に厚く硬くなったもの。円形に皮膚が硬くなり、中心には芯があり、圧痛により痛みを感じる。治療は、食い込んだ芯をしっかりと除去すること。

うおのめ専用の絆創膏も販売されている。

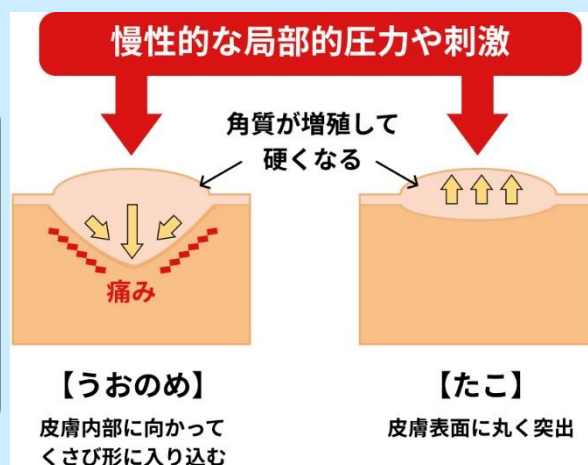


新！出題基準「胼胝(たこ)」

胼胝(たこ)は、スポーツや職業などにより手足の特定の部位に反復的に圧が加わることによって生じる皮膚の肥厚。表面方向へ一様に角質が肥厚する。



うおのめと違って皮膚の中心に芯はないよ。
バイオリン奏者の下顎にできやすい。



引用：鶴町皮膚科クリニックHP
<https://tsurumachi.jp/corn/>

疣贅(ゆうぜい / ウィルス性イボ)

イボは、ウィルス感染によって生じる。傷のある皮膚にウィルスが入り、表皮角細胞に入り込み増殖する。

「うおのめ」と「たこ」は、表皮の角質化によるものであるため区別しよう。

1. 国家試験に向けて知識を付けよう（新出題基準①）

新！出題基準「トラウマインフォームド・ケア」

トラウマインフォームド・ケア（TIC）は、怒りや恐怖、暴力行為などがみられた際に、問題行動として捉えるのではなく、「過去のトラウマ体験がよみがえってくるかもしれない」という視点を持ってケアにあたることを言う。

インフォームドとは、「理解している・前提にする」という意味があり、TICはトラウマを理解したケアを指している。



TICの「4つのR」

- ① Realize(理解する)
→トラウマについての知識を持ち
- ② Recognize
→どんな影響を受けているか認識して
- ③ Respond
→適切な対処をすることで
- ④ Resist(Re-traumatization)
→再トラウマを予防する



治療環境を整えることがTICの土台（具体的な対応例）

- ・大きな声や音や苦手な患者さんが、なるべく静かに過ごせるように部屋を調整した。
- ・宗教上、お祈りしたいときに使える場所やタイミングを相談しながら決定した。
→本人が大事にしていること（信仰なども含め）を、安心して行える方法を一緒に考えることもトラウマインフォームド・ケアになる。

TIC「6つの主要原則」

- ①安全 ②信頼性と透明性
- ③ピアサポート ④協働と相互性
- ⑤エンパワメント・意見表明・選択
- ⑥文化・歴史・ジェンダーに関する問題